

セルフ静岡ニュース



第23号

2019. 1. 18 発行

一般社団法人 静岡県社会就労センター協議会

住所 静岡市葵区呉服町 2-1-5 5風来館 4階

TEL (054)204-5088 FAX (054)204-5089

<CONTENTS>

- ・県知事年始挨拶
- ・小杉副理事長挨拶
- ・感染症予防研修会報告
- ・静岡県委託事業報告
- ・イベント報告
- ・会員施設紹介

静岡県知事年始挨拶

平成31年1月7日、障害者福祉3団体役員が、川勝平太静岡県知事に年始の挨拶に訪問しました。



左より SELP 山内剛副理事長、SELP 寺田千尋副理事長、連合会わス波千秋副理事長、SELP 山下敏明理事長、川勝平太県知事、連合会わ高木誠一理事長、連合会わ加藤明成副理事長、オールしずおか鈴木良夫専務理事、オールしずおか松本克彌部長、SELP 小杉祐介副理事長

小杉副理事長挨拶

一般社団法人静岡県社会就労センター協議会
副理事長 小杉 祐介
(社会福祉法人天竜厚生会 美浜・施設長)



新年おめでとうございます。

私は平成30年4月より静岡県社会就労センター副理事長を拝命致しました、社会福祉法人天竜厚生会障害者支援施設美浜の小杉祐介といたします。どうぞよろしくお願い致します。

私の勤務する事業所は50名の知的障がいのある方の入所施設で、主な作業として空き缶や段ボールの回収の他、エコキャップのリサイクルの一環としてキャップの分別と粉碎の作業を行っています。作業時間は平日午前のみという短い時間ですが、この小さな作業の積み重ねが次へのステップにつながり、社会へとつながっていきけるよう、ご利用者も職員も頑張っており、当事業所を利用するご利用者が就労や地域といった次のステップへ移ることができるよう、職員一丸となって取り組んでいます。

さて、静岡県社会就労センターは、障がいのある方の自立と社会参加を“はたらく”側から支える機関として活動しております。これにおきましては静岡県をはじめ、多くの企業や関係団体様のご理解やご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ただ、近年では報酬改正に伴い就労継続A型事業所における利用者の大量解雇が報道されたり、昨年も国や地方自治体の障害者雇用率の水増しといった問題が明るみになったりと、まだまだ障がいのある方の“はたらく”ことへの環境や理解が整えられていないと痛感しました。障がいのある方が安心して働き続けられることができるよう、当センターも全国組織であることを活かし取り組んでいきたいと思っております。

最後に今年には元号が変わります。様々な世の中の変化の中で当センターも時代やニーズに合わせて変化していく必要はあると思っております。ただ、障がいのある方の自立と社会参加のために“はたらく”を支えていくことはブレずに今年も進んでいきたいと思っております。

今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

* * * * *

『感染症予防研修会』報告

平成30年9月26日(水) 13:30~16:30

5風来館4階会議室

出席者 児童施設 10名、高齢者施設 20名
障害者施設 26名、役員委員 11名 計67名

平成30年10月2日(火) 13:30~16:30

三島市民生涯学習センター会議室

出席者 児童施設 2名、高齢者施設 28名
障害者施設 24名、役員委員 4名 計58名

講師 医療法人伊豆七海会 熱海海の見える病院
感染管理認定看護師 看護部長 西島志枝氏



『平成30年度 知的障害者等居宅介護職員初任者研修修了式』

平成14年より静岡県からの受託事業として開催され、17年目となりました。

今年度は、東部地区10名、中部地区10名、西部地区5名、伊豆地区4名、計29名の受講生が、195時間の長い研修を経て、最終試験に合格しました。修了式では、静岡県知事名の修了証明書を静岡県健康福祉部障害者支援局 田光祥浩局長より一人一人授与されました。

地区代表で挨拶をした修了生は、「最後まで通えるか心配だった」「難しい言葉もたくさんあったけど、一緒に勉強する仲間と励まし合った」「将来は、気持のわかる介護員になりたい」と、研修を振り返り、今後の就労に意欲を語りました。

来賓の皆様からは温かい励ましの言葉を頂戴しました。



『都田朝市販売会』

常葉大学浜松校「キトルス祭」での『都田朝市販売会』に参加。当日は、天気にも恵まれ、大勢の買い物客で賑わっていました。

販売に参加した職員と利用者さんはお揃いの「SEL P」上着やエプロンを身につけ、大きな声で呼び込みをしました。

山本舞茸さまの舞茸と草笛の会しいたけ、軍鶏肉炒めを実演し、香りに誘われたお客様で、あっという間に完売！ 和やかな楽しい販売会でした。



右 盛り付けをする
賛助会員エムエスケイ菊地様

施設紹介

私たちの自慢の一品・・・是非ともご賞味ください・・・



菊川市内の山で育てたブルーベリーをジャムにしました。ブルーベリーの収穫は6月下旬ころから9月上旬です。生での販売も行っていますが、ジャムに加工して販売もしています。比較的甘みを抑えた味となっています。その他にも季節の果物（イチゴ・みかん等）をジャムにすることも行っています。

商品名:おらっちのジャム 内容量:150グラム
販売価格:350円

菌床しいたけ栽培です。農閑期の11月～3月ころまでの生産です。原木とは違い、作業も行いやすく毎朝の収穫とパック詰めには、仲間たちの力が発揮されます。少量の菌床なので大量には生産できませんが少しずつ安定した栽培ができつつあります。近隣の農協やスーパーで販売しています。直売も行っています。

商品名:菌床しいたけ 販売価格:100グラム100円から(時価)



社会福祉法人草笛の会 菊川寮 障害者支援施設



地域のバザーでの販売

社会福祉法人草笛の会は昭和50年に法人設立し、「僕たちだけで働きたい」という願のもと昭和51年に「草笛共同作業所(当時の授産施設)」を立ち上げました。設立当初から「働く」をテーマに現在に至っています。「菊川寮」は平成2年に入所更生施設(当時)として開所し、現在は障害者支援施設(定員55名 知的障害者を主として)として運営しております。様々なハンディを抱えている人達でも、個々にあった生活スタイルや思いがあることを認識しながら、最近では働く(経済活動)ことの推進も図っています。

今は、事業所からの受託作業(3社)・ブルーベリー栽培・ジャム製造・農耕(畑仕事・しいたけ栽培)等を年間計画の中に落とし込み、本人にあった活動に参加していただくよう心がけています。また、芸術活動として「絵画」「陶芸」「音楽療法」にも力をいれており、年間50か所程度(法人全体として)の「販売・展示」を行うため、地域の催し物に参加しています。販売活動に参加する仲間(利用者)たちはとても意欲的で頼りがいがあります。今後ともよろしくお願ひいたします。



組木作業

一般社団法人 静岡県社会就労センター協議会 事務局
〒420-0031 静岡市葵区呉服町2-1-5 5風来館4階

TEL 054-204-5088 FAX 054-204-5089

E-mail; bz265865@bz03.plala.or.jp HP; www.shizuoka-selp.or.jp

